

## 仁淀川親子ふれあい交流体験が行われました！

令和5年7月23日（日）に越知町宮の前公園で、「仁淀川親子ふれあい交流体験（パネルラリークイズ、生きもの調べ、川流れ体験、鮎の放流）」が行われました。

パネルラリークイズは、仁淀川に関する内容で、河川ゴミや生きものなど様々なクイズが全部で6問。これに正解するとプレゼントがもらえることから、子どもも親御さんも各パネルの担当者の解説を熱心に聞き、クイズを解いていました。

生きもの調べの先生は、石川先生が担当。7月上旬から雨が少ない状態が続き、川の石には苔が生え、滑りやすいなどの注意事項を説明するとともに、どういうところに水生生物がいるのかを解説していました。その後みんなで採集した水生生物を、その水生生物が川のきれいな所に住んでいるのかを見分ける表（スコア表）をもとに分析したところ、川のきれいなところに住む生物が多数見られたことから「きれい」と判定できました。

川流れ体験の先生は、大下先生が担当。最初に川で遊ぶ際の注意事項やライフジャケットの効果、着用方法等を参加者へ説明。足から徐々に川の水温に体を慣れるようにして入水。入る前は分からなかった深い地点など、川の様子を実際に感じながら安全かつ楽しく川流れを体験するとともにライフジャケットの重要性を再確認しました。

最後は、仁淀川漁協の協力で鮎の放流を行いました。バケツに入れられた鮎は活きが良いすぎてバケツから飛び出ることもありましたが、子どもたちの協力もあり元気に仁淀川を泳いでいきました。

コロナ禍での延期を乗り越え、仁淀川漁協をはじめ流域の様々な人が関わり、無事終了することができました。

